

# 給食会の貸出教材を使用した際の使用例をご紹介します。

## 食育ゲーム

教材コード	教材名	使用日	対象者	人員	指導方法
8002	まめっ子くん 	11月21日	全校児童	360名	児童会行事(チャレンジ祭り)の中のゲームのひとつとして、活用させていただきました。1分間で何個移せるかを競い、順位をつけたり賞状を渡したりしました。1人分のセットが整っていて、大変使いやすかったです。
		10月10日	1年生	9名	給食時間中に、はしの持ち方について話をしました。(参考教材として)
		1/26～ 1/30	全校児童 (6年生インフルのため不参加)	407名	給食週間の行事で、豆つかみ大会をしました。給食委員会の子ども達が誘導とタイムを計り、昨年も豆つかみ大会をしているようなので、慣れている子もいました。低学年の写真しかなかったのですが、逆に豆を置いてしていましたが、こちらの方が難しかったようです。1回目、2回目とする子がいて、記録をのばしては喜んでいました。
		2/9～ 2/16	小学1年生	170名	各班(約6班)に1セットずつ渡し、班4人の合計の数を競うゲームをした。黒板に表を書いて1人(グループ)1分でタイムを計り、表に記録して、班の合計をだした。みんなで班員を応援し、盛り上がり良かった。はじめにはしの持ち方は指導したが、ゲーム中に一人一人の持ち方は確認できなかった。1分間で7ヶ～23ヶ、人それぞれだった。ゲームをする前に、はしの持ち方のビデオ等があると、きちんと箸を持ってない子も、もっとわかりやすかったかと思う。
8003	野菜と果物の花と実当てクイズ 	6/27 6/28	保育園の職員 園の保護者	30 15名	今年度、4園で食育に取り組みたいとの依頼があったため、いろんな教材媒体があることを知らせ、子ども達や親に興味をもってもらうことを優先する。まず自分たちが楽しんで導入するよう指導した。
		7月27日	市民	100名	給食フェスタの掲示資料として使用しました。答えをめくれるようにしてみました。いろいろな野菜・果物の花がありよかったです。写真が少しぼやけているのが残念ですね。今回は掲示したのでそれぞれで確認できるように答えをめくれるようにしてみました。
8010、8011	かみかみセンサー 	6月25日	全校児童	66名	6月の歯の衛生週間にあわせて、歯についての健康委員会集会を行った。その中でかみかみセンサーのことを全校に紹介した。保健室前に体験コーナーを設置し、誰でも使用できるよう整えた。かみかみセンサーを使いながら「普段はこんなにかんでいないからアゴが痛い」「今日の給食からこれくらいかみたい」と話し、咀嚼の大切さを実感できたようだった。
		7/30 8/7 8/20 8/21 8/27	小学生と その保護者(41組)	108名	「夏休み！わくわく食育教室」にて テーマ「噛むことの大切さ」 ガムやセンサーを使った噛む力の実験・噛み噛みメニューの調理実習 【実験1】咀嚼判定ガムを使って、自分の咀嚼力を確かめる。 【実験2】かみかみセンサーを使って、切り方の違う2種類のきゅうり、2種類のお菓子を食べて、咀嚼回数の違いを知る。 【まとめ】よく噛んで食べるための工夫。 調理後の食事でも、かみかみセンサーを使用。